

令和6年度 第3学年 社会科 年間指導計画

| 月      | 題材名                       | 時数 | 目標                                                                                                               | 学習指導要領          | 観点別学習状況の評価規準<br>①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現<br>③＝主体的に学習に取り組む態度                                                                                                                                                                                                                                  | 評価方法                                                     | 「資質・能力」<br>「道徳との関連」等<br>各学校・教科で必要なもの |
|--------|---------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 4<br>5 | 第5章 開国と近代日本の歩み<br>★<br>4節 | 7  | 日本で近代産業が発展したことを、大陸との関係や国内外の反応、韓国の植民地化などから理解させる。                                                                  | C<br>(1)<br>ア・イ | ①自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。<br>②明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③近代前半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。          | テスト<br><br>ワークシート<br>ノート<br><br>観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り | 情報活用力<br>表現力                         |
|        | 第6章 二度の世界大戦と日本            | 20 | 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。 | C<br>(1)<br>ア・イ | ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などを基に、軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解している。<br>②戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 | テスト<br><br>ワークシート<br>ノート<br><br>観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り | 情報活用力<br>表現力                         |
| 6      | 第7章 現代の日本と私たち             | 13 | 第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させる。また、高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて理解させる。             | C<br>(2)<br>ア・イ | ①高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。<br>②諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。                                          | テスト<br><br>ワークシート<br>ノート<br><br>観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り | 情報活用力<br>表現力                         |
| 7      | 第1章 現代社会の特色と私たち<br>1節2節   | 10 | 情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現させる。                    | A<br>(1)<br>ア・イ | ①現代日本の社会では情報化、グローバル化、少子高齢化など変化がみられることを理解し、その知識を身につけている。<br>②情報化、グローバル化、少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について、位置や空間的な広がり、推移や変化などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③情報化、グローバル化、少子高齢化に関する事象を身近なところから見つけ、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。                                      | テスト<br><br>ワークシート<br>ノート<br><br>観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り | 情報活用力<br>コミュニケーション力<br>表現力           |
| 9      | 第1章 現代社会の特色と私たち<br>3節     | 8  | 対立と合意、効率と公正などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。                                              | A<br>(2)<br>ア・イ | ①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。<br>②対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。                                                                                        | テスト<br><br>ワークシート<br>ノート<br><br>観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り | 情報活用力<br>コミュニケーション力<br>表現力           |
| 10     | 第2章 個人の尊重と日本国憲法           | 17 | 基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解させるとともに、日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について、多面的・多角的に考察し、表現させる。                               | C<br>(1)<br>ア・イ | ①日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。<br>②対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。                                                                  | テスト<br><br>ワークシート<br>ノート<br><br>観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り | 情報活用力<br>コミュニケーション力<br>表現力           |

|        |                                              |    |                                                                                                   |                 |                                                                                                   |                          |                            |
|--------|----------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 11     | 第3章<br>現代の民主政治<br>と社会◎                       | 22 | 個人を尊重し、基本的人権を守る政治を実現するためには、公正な世論の形成や選挙など、国民の政治参加と国民の意思を国政や地方の政治に十分反映させることが必要であることを理解させる。          | C<br>(2)<br>ア・イ | ①国の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。                             | テスト                      | 情報活用力<br>コミュニケーション力<br>表現力 |
|        |                                              |    |                                                                                                   |                 | ②国会、内閣、裁判所の国民主権を守るための役割と課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。                                     | ワークシート<br>ノート            |                            |
|        |                                              |    |                                                                                                   |                 | ③国の政治のしくみについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。                                     | 観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り |                            |
| 12     | 第4章<br>私たちの暮らし<br>と経済<br>1節2節                | 12 | 経済活動を活発にしていくための消費者の役割と責任を理解させるとともに、消費者の保護など消費者をめぐる問題について、政府の取り組みなどを理解させる。                         | B<br>(1)<br>ア・イ | ①国や地方公共団体は消費者の権利の尊重およびその自立の支援のために、消費者政策を推進する役割を担っていることを理解し、その知識を身につけている。                          | テスト                      | 情報活用力<br>コミュニケーション力<br>表現力 |
|        |                                              |    |                                                                                                   |                 | ②経済活動を活発にするための消費者の役割や責任について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。                                        | ワークシート<br>ノート            |                            |
|        |                                              |    |                                                                                                   |                 | ③個人の消費生活に関する諸問題に着目し、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを自らの消費生活に生かそうとしている。                                     | 観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り |                            |
| 1      | 第4章<br>私たちの暮らし<br>と経済◎<br>3節4節5節             | 14 | 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。 | B<br>(2)<br>ア・イ | ①市場経済においては、価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し、その知識を身につけている。                                          | テスト                      | 情報活用力<br>コミュニケーション力<br>表現力 |
|        |                                              |    |                                                                                                   |                 | ②経済活動や市場経済の意義について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。                                                  | ワークシート<br>ノート            |                            |
|        |                                              |    |                                                                                                   |                 | ③経済活動や市場経済の意義について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を解決しようとしている。                                       | 観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り |                            |
| 2<br>3 | 第5章<br>地球社会と私たち★<br>1節2節                     | 13 | 国際社会においては、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力および国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。                       | D<br>(1)<br>ア・イ | ①国際協調のあり方や国際機構の役割について理解し、その知識を身につけている。                                                            | テスト                      | 情報活用力<br>コミュニケーション力<br>表現力 |
|        |                                              |    |                                                                                                   |                 | ②国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力について、課題を見だし、対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 | ワークシート<br>ノート            |                            |
|        |                                              |    |                                                                                                   |                 | ③国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力について、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい国際協調のあり方を考えようとしている。                          | 観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り |                            |
|        | 第5章<br>地球社会と私たち<br>1節2節<br>終章<br>より良い社会を目指して | 4  | 持続可能な社会を形成することに向けて、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を探究する活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。                        | D<br>(2)<br>ア・イ | ①温室効果ガスの削減に向けての国際的な取り組みと課題、日本の対応について理解し、その知識を身につけている。                                             | テスト                      | 情報活用力<br>コミュニケーション力<br>表現力 |
|        |                                              |    |                                                                                                   |                 | ②社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。                        | ワークシート<br>ノート            |                            |
|        |                                              |    |                                                                                                   |                 | ③私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。                               | 観察・ノート<br>ワークシート<br>振り返り |                            |